

(様式9)

公共事業終了箇所評価調書

評価確定日(平成16年11月22日)

事業コード	H16-農-終-7			区 分	国庫補助・県単独
事業名	畑地帯総合整備事業			部 局 名	農林水産部
事業種別	畑の総合的な整備(区画、道路、用水)			課 室 班 名	農地整備課 水利・防災班 (tel) 1831
路線名等	桃野			担当課長名	葭井 功治
箇所名	由利郡矢島町桃野			担当者名	主幹(兼)班長 三沢 彰
総合計画との関連	政策コード	N	政策名	豊かな自然と調和した個性あふれる農林水産業の振興	
	施策コード	4	施策名	新時代に躍動する多様な農業経営体の育成	
	目標コード	2	施策目標名	生産基盤の整備促進	

1. 事業の概要

事業期間	H5~H14(10年)	総事業費	10.3 億円	国庫補助率	1/2																																											
事業規模	畑の区画整理 A=51ha、幹線道路 L=2,580m(4.0/5.0) 用水施設 1式(揚水機N=3箇所、送水管L=6,251m)																																															
事業の立案に至る背景	<p>本地区は鳥海山北側の裾野に昭和30年代に開墾された畑地であるが、急傾斜のため表土流出による土壌劣化が著しく進行しているほか、畑面は沢が入り込み不整形で、効率的な機械化営農が困難な状況にあった。</p> <p>このようなことから、地域の冷涼な気候などの立地条件を活かした高原野菜(夏大根等)の産地化等複合経営の確立や地域農業を支える多様な経営体の確保・育成を図るため、区画整理、農道や農業用水施設について総合的な整備が必要であった。</p>																																															
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理：畑面形状や勾配、高低差を修正し作業効率を向上させる(A=51ha) 幹線道路：機械化営農の効率性や生産物運搬時の荷痛み防止を図る(L=2,580m、4.0m/5.0m) 用水施設：安定的な用水供給により品質や収量を確保する(揚水機3箇所、送水管L=6,251m) 																																															
事業費内訳	<p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当初計画</th> <th>最終</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>1,026,000</td> <td>1,025,964</td> <td rowspan="4">最終コスト比較 C / C = (1.00)</td> </tr> <tr> <td>経費内訳</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>932,056</td> <td>932,593</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>93,944</td> <td>93,371</td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="4">最終費用便益比 B / C = (1.38)</td> </tr> <tr> <td> 国庫補助</td> <td>513,000</td> <td>512,982</td> </tr> <tr> <td> 県債</td> <td>227,000</td> <td>227,000</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>256,500</td> <td>256,491</td> </tr> <tr> <td> 一般財源</td> <td>29,500</td> <td>29,491</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>道路工 区画整理 用水施設</td> <td>道路工 区画整理 用水施設</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						当初計画	最終		事業費	1,026,000	1,025,964	最終コスト比較 C / C = (1.00)	経費内訳			工事費	932,056	932,593	用補費	0	0	その他	93,944	93,371		財源内訳			最終費用便益比 B / C = (1.38)	国庫補助	513,000	512,982	県債	227,000	227,000	その他	256,500	256,491	一般財源	29,500	29,491		事業内容	道路工 区画整理 用水施設	道路工 区画整理 用水施設		
	当初計画	最終																																														
事業費	1,026,000	1,025,964	最終コスト比較 C / C = (1.00)																																													
経費内訳																																																
工事費	932,056	932,593																																														
用補費	0	0																																														
その他	93,944	93,371																																														
財源内訳			最終費用便益比 B / C = (1.38)																																													
国庫補助	513,000	512,982																																														
県債	227,000	227,000																																														
その他	256,500	256,491																																														
一般財源	29,500	29,491																																														
事業内容	道路工 区画整理 用水施設	道路工 区画整理 用水施設																																														
事業終了後の問題点	なし																																															
住民満足度等の状況(事業終了後)	<p>満足度を把握した対象 受益者 一般県民 (時期： 16年9月)</p> <p>満足度把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の方法 (具体的に)</p> <p>満足度の状況</p> <p>関係農家は、本事業を契機にして、「JA、農業改良普及員や土地改良関係者とともに「桃野畑実績検討会」や「桃野地区営農対策打合せ」を設置し、作目ごとの販売状況や栽培方法を整理して、より良い営農体制づくりに向けて意欲的に活動しており、新たな営農展開を可能にした本事業を高く評価している。</p>																																															
上位計画での位置付け	「あきた21総合計画」において「新時代に躍動する多様な農業経営体の育成」を田畑複合経営の面から支援する事業																																															
関連プロジェクト等	なし																																															

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止 指摘事項																			
	なし																			
事業効果把握の手法及び効果	指摘事項への対応																			
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>作業機械の共同利用割合</td> <td>データ等の出典</td> <td rowspan="2">桃野畑実績検討会資料 J A秋田しんせい聞き取り</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td><input checked="" type="radio"/> 成果指標 <input type="radio"/> 業績指標</td> <td rowspan="4">把握の時期</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td>畑作業延台数 ÷ J A 所有稼働延台数</td> <td rowspan="4">16年 3月</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>達成率 b / a</td> <td>100%</td> </tr> </table>	指標名	作業機械の共同利用割合	データ等の出典	桃野畑実績検討会資料 J A秋田しんせい聞き取り	指標の種類	<input checked="" type="radio"/> 成果指標 <input type="radio"/> 業績指標	把握の時期	指標式	畑作業延台数 ÷ J A 所有稼働延台数	16年 3月	目標値 a	100%	実績値 b	100%	達成率 b / a	100%			
	指標名	作業機械の共同利用割合	データ等の出典	桃野畑実績検討会資料 J A秋田しんせい聞き取り																
指標の種類	<input checked="" type="radio"/> 成果指標 <input type="radio"/> 業績指標	把握の時期																		
指標式	畑作業延台数 ÷ J A 所有稼働延台数		16年 3月																	
目標値 a	100%																			
実績値 b	100%																			
達成率 b / a	100%																			
指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法 指標を設定することができなかった理由																				
具体的な把握方法と成果（見込まれる効果） データの出典含む																				

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価結果
有効性	住民満足度の状況 <input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C 関係農家は、本事業を契機にして、「桃野畑実績検討会」や「桃野地区営農対策打合せ」を設置し、より良い営農体制づくりに向けて意欲的に活動しており、新たな営農展開を可能にした本事業を高く評価していることから、満足度は高いと判断する。	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C
	事業の効果 <input checked="" type="radio"/> A 達成率100%以上 <input type="radio"/> B 達成率80%以上100%未満 <input type="radio"/> C 達成率80%未満 達成率は100%相当以上と判断する。	
	事業の経済性の妥当性 <input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C B / C が土地改良事業の施行の要件である1.0以上（1.38）となっており、経済性の妥当性は高い。	
効率性	コスト縮減の状況 <input type="radio"/> A 縮減率20%以上 <input type="radio"/> B 縮減率20%未満 <input type="radio"/> C 縮減なし	<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C
総合評価	<input checked="" type="radio"/> A（妥当性が高い） <input type="radio"/> B（概ね妥当である） <input type="radio"/> C（妥当性が低い） 当地区は、畑の総合的な整備を契機に立地条件を活かし高原野菜（夏大根等）の産地づくりを行うなど、田畑複合経営を実践するとともに、農業機械の共同化による作業の省力化、生産コストの低減を可能としたことから、事業の妥当性は高い。	

3. 評価結果の同種事業への反映状況等（対応方針）

地域特性に応じた適正な整備水準・工法等を把握し、再生資源の有効活用などコスト縮減に積極的に取り組み、効率的な事業施行に努める。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価及び対応方針を可とする。